

# ACTION

# アクション REAR VIEW

リアビュー



# AMX-014 DÖVEN WOLF

## NEO ZEON QUASI PSYCOMMU MOBILE SUIT

© 創通・サンライズ

MODEL NUMBER : AMX-014  
 HEAD HEIGHT : 22.0m  
 WEIGHT : 36.8t TOTAL WEIGHT : 74.5t  
 GENERATOR OUTPUT : 5,250kw  
 THRUSTERS TOTAL PROPULSION : 87,300kg  
 MATERIAL : GUNDARIUM ALLOY COMPOSITE  
 ARMAMENTS : 30mm VULCAN GUN  
 BEAM CANNON / BEAM SABER  
 MISSILE / MEGA PARTICLE CANNON  
 ANTI SHIP MISSILE  
 MEGA LAUNCHER (BEAM RIFLE)  
 INCOM / BEAM HAND  
 HIDDEN ARM  
 (ONLY COMMANDER UNIT)



※一部の画像はバンダイプラモデルアクションベース2(別売り)を使用しています。

# DETAIL

ディテール



**頭部30mmバルカン砲**  
 30mm口径の実体弾を高速で連射する。装弾数は300発で、敵機に致命的ダメージを与える事も可能。

**インコム**  
 有線式の準サイコミュ兵器。NT能力のほとんどない一般兵士でも擬似的なオールレンジ攻撃が可能となる。

**肩部ビーム・キャノン**  
 ジェネレーター直結型の大出力ビーム砲。バックバック両側の可動式専用パイロンに2基の大型対艦ミサイルと、バーニアバインダーにマイクロミサイルポッドを装備している。

**対艦ミサイル/ミサイル**  
 ジェネレーター直結型の大出力ビーム砲。バックバック両側の可動式専用パイロンに2基の大型対艦ミサイルと、バーニアバインダーにマイクロミサイルポッドを装備している。

**対艦ミサイル/ミサイル**  
 ジェネレーター直結型の大出力ビーム砲。バックバック両側の可動式専用パイロンに2基の大型対艦ミサイルと、バーニアバインダーにマイクロミサイルポッドを装備している。

足裏ディテール

**AMX-014 ドーベン・ウルフ** ※画像はイメージです。  
 ドーベン・ウルフは、TVシリーズ「機動戦士ガンダムZZ」などに登場した量産型MSである。U.C.0088年12月25日。ジオン本国の旧ザビ派がグレイムントを首領として謀叛。小惑星アクスズを占拠した。この対立はネオ・ジオンを二分した内部抗争へと発展する。U.C.0089年1月13日。ハマーンの直属艦隊が出撃し、マッシュマー麾下の部隊も参戦。そして親衛隊キャラ・スーンの部隊とスペース・ウルフ隊が戦闘状態に突入する。「ラカン・ダカランかっ!」「キャラ、手並みを見せてもらう」「お前の手下どものように逃げるんじゃないよ!」「ほざくなー!!」AMX-015 ゲーマルクのビームをかくぐり、ドーベン・ウルフがその背後に組み付く。しかし、マザーファンネルのビーム砲がそれを阻み、MSZ-010 ZZガンダムの参戦もあってラカンは離脱を余儀なくされる。そのままブルターとマッシュマーの交戦宙域に侵入したラカンは、部下と連係してマッシュマーのAMX-011S ザクⅢ改を捕らえ、電撃とメガランチャーの集中砲火を浴びせる。と、ザクⅢ改が怪しい光を放ち、ビームを跳ね返したのみならず、ラカンの僚機をたぐり寄せ両腕で破壊した。「ハマーン様、万歳!!」そのまま光は拡大し、周囲を呑み込んでいった。「何の光!」ラカンはその光景に唖然とするほかなかった……。



# COLOR GUIDE

※よりリアルに仕上げたい方は、右の基本色をご確認ください。  
 ※塗装には、より安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。  
 ※カラー配合は参考値であり、画像とカラーガイドの色は異なる場合があります。

● 本体等グリーン部: ホワイト(45%) + デイトナグリーン(30%) + インディブルー(25%)	● 関節等グレー部: エアクラフトグレー(50%) + ニュートラルグレー(40%) + パープル(10%)	● バーニア内等オレンジ部: ホワイト(50%) + オレンジイエロー(30%) + オレンジ(20%)
● 本体等グレー部: ニュートラルグレー(75%) + ブラック(25%)	● 本体、ミサイル等レッド部: モンザレッド(100%)	● センサー等ピンク部: ピンク(100%)

1/144 SCALE

HG  
 UNIVERSAL CENTURY

GUNDAM.INFO Search  
 www.gundam.info  
 バンダイホビーサイト ▶ www.bandai-hobby.net/  
Fees accrued by your communication and connection to the internet are under customer's responsibility.  
 ホームページにアクセスする際の通信料等はお客様の責任となります。

機動戦士  
**ガンダムZZ**

BAN  
 DAI

0189180

●ここに掲載している情報は2014年2月現在のものです。

BANDAI 2014 MADE IN JAPAN

●画像の完成品は塗装してあります。



### 警告 (けいこく)

保護者の方へ 必ずお読みください。

- 小部品があります。誤飲・窒息の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。
- 生後18ヵ月未満のお子様には絶対に与えないでください。ひもなどで首を絞める危険があります。

### 注意 (ちゅうい)

- 縁部が鋭い箇所がありますので、注意してください。
- 先端が尖っている箇所がありますので、注意してください。
- 部品はきれいに切り取り、切り取ったあとのクズは捨ててください。
- 袋を頭からかぶったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。

### 《組み立てる時の注意》

- 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
- 部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。
- 塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。

組み立て中に  
注意する箇所



・シールの番号



・反対側に取り付けるパーツ



・両側に同じパーツを取り付ける



・向きに注意して取り付ける



・切り取る場所



・部品を数値の個数作ります



・先に組み立てます



・後に組み立てます



・どちらかを選んで取り付ける



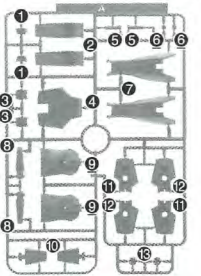
・反対側も同じように動かします

### パーツリスト

(×印は使用しないパーツです。)

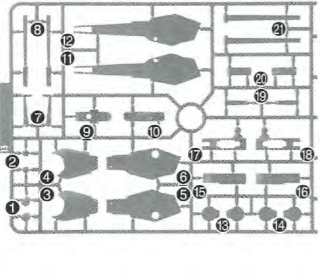
#### Aパーツ

(スチロール樹脂: PS)



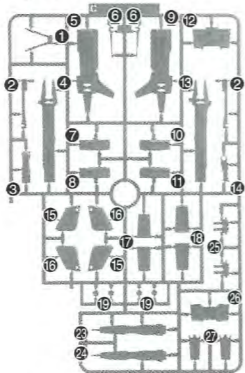
#### Bパーツ

(スチロール樹脂: PS)



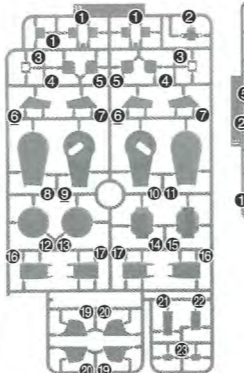
#### Cパーツ

(スチロール樹脂: PS)



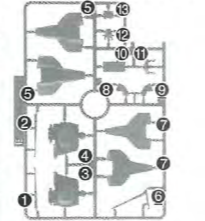
#### Dパーツ

(スチロール樹脂: PS)



#### Eパーツ

(スチロール樹脂: PS)



#### Fパーツ

(スチロール樹脂: PS)



#### Gパーツ

(スチロール樹脂: PS)



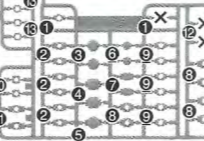
#### H1パーツ

(スチロール樹脂: PS)



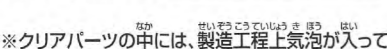
#### (PC-132ABC)

(ポリエチレン: PE)



#### SB1パーツ

(スチロール樹脂: PS)



※クリアパーツの中には、製造工程上気泡が入っているものがありますがご了承ください。

- ホイルシール……………1
- リード線……………2 (塩化ビニル樹脂: PVC)

### ※部品はきれいに切り取り、向きや左右などイラストを良く見て組み立ててください。

#### 1

#### 2

#### 3

#### 4

#### 5

#### 6

#### 7

#### 8

#### 9

#### 10

#### 11

#### 12



**13** ×2  
2個作る

(シール) 16 (シール) 2  
(シール) 17 (シール) 18  
(シール) 15

《組み付け位置》

PC8 (後に組む)

PC6 A11

A12 A3 A1

↑ (上から見た図)

↑ (前に組む)

**14** ×2  
2個作る

H13

**15** ×2  
2個作る

11 12 (向きに注意)

**16** ×2  
2個作る

D1 F16

(通んで取り付ける)

F19 F20

**17** ×2  
2個作る

F18 D1

(通んで取り付ける)

F15 F14 D1

**18** ×2  
2個作る

※各アンテナが折れないように注意してください。

10 7 5 10

16 17

**19** ×2  
2個作る

G6 PC4

(後に組む) G4

《内側から見た図》

D20 D19 (反対側に取り付ける)

**20** ×2  
2個作る

E6 PC9

(後に組む) E7

**21** ×2  
2個作る

19

**22** ×2  
2個作る

(後に組む) PC8 PC10

G7

**23** ×2  
2個作る

(後に組む) G8

※PCパーツを押さえながら取り付けます。

(後に組む) PC2

G2 PC2 G9

(後に組む) D17

**24** ×2  
2個作る

PC11 G3

G12 (後に組む)

**25** ×2  
2個作る

PC9 A8

G11

**26** ×2  
2個作る

《組み付け位置》

PC8 G16

G10

**27** ×2  
2個作る

A7 A9

(シール) 1

《後ろから見た図》

D7 D6 (反対側に取り付ける)

**28** ×2  
2個作る

(後に組む) D10

向きをかえます。

D10・D11

(反対側に貼るシール)

**29** ×2  
2個作る

22 23

**30** ×2  
2個作る

(後に組む) D18

(反対側に貼るシール)

13 12

向きをかえます。

D18・D19

**31** ×2  
2個作る

22 23

**32** ×2  
2個作る

F18 PC1

↑ (前に組む)

向きをかえます。

D15 PC6

D21 D14 (後に組む)

**33** ×2  
2個作る

(シール) 10 (シール) 28

(シール) 11 (シール) 11

(シール) 10 (シール)

《横から見た図》

E18 E10

↑ (前に組む)

**34** ×2  
2個作る

↑ (前に組む)

D2 (シール) 8

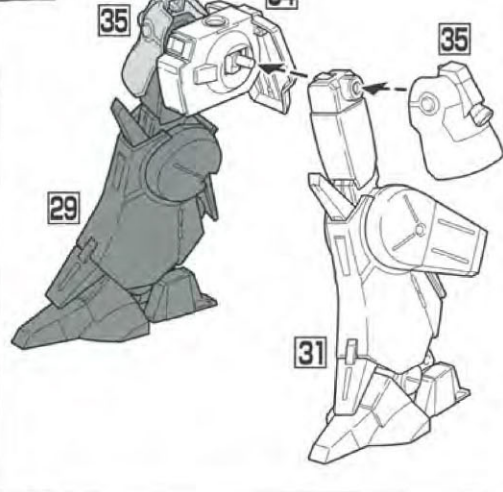
A4 (シール) 6 (シール) 7

**35** ×2  
2個作る

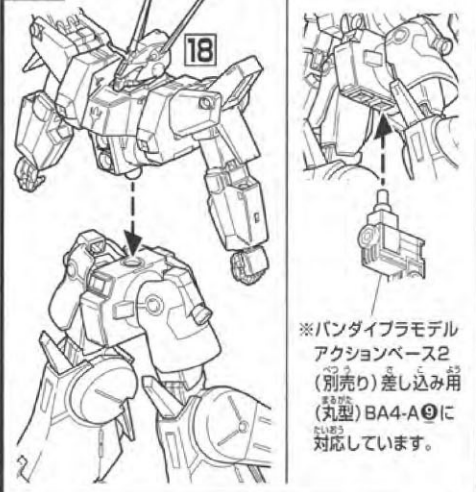
A9 A10



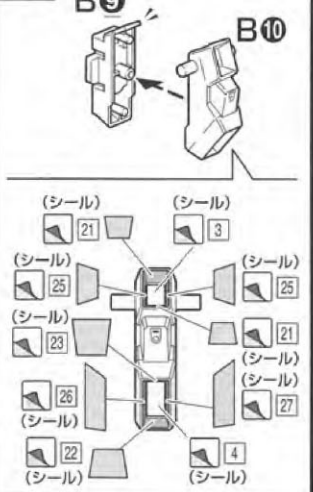
36



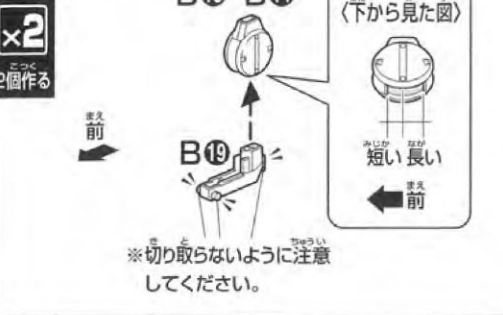
37



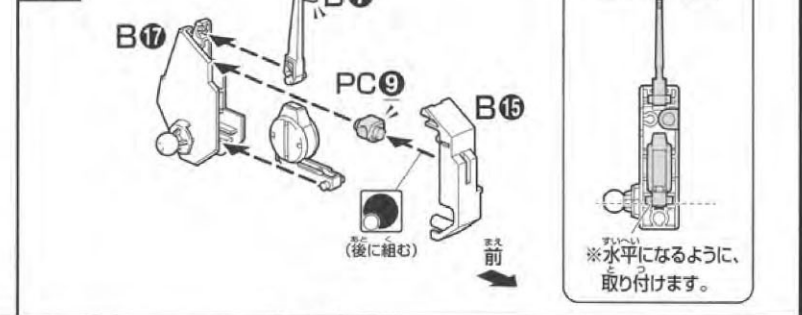
38



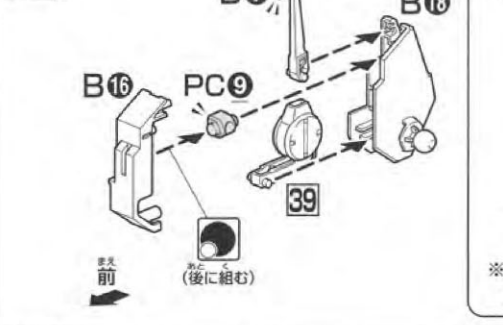
39



40



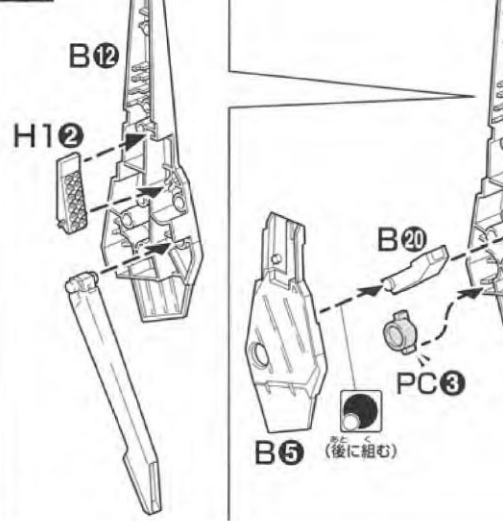
41



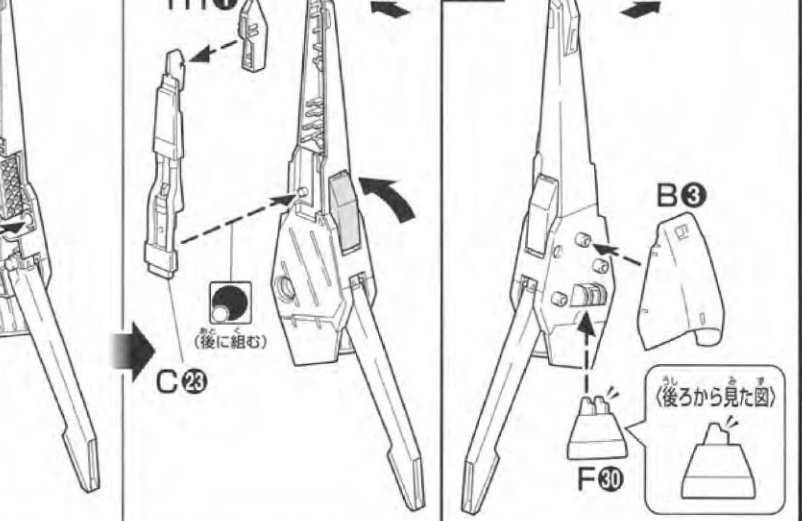
42



43



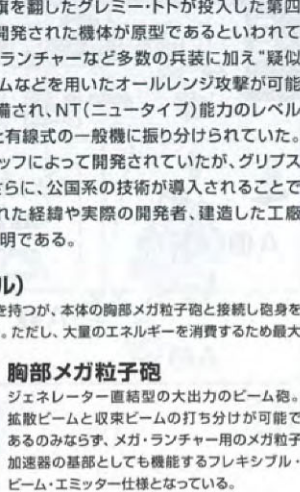
44



45



46



### AMX-014 DÖVEN WOLF

### ビーム・サーベル

当時のMSの標準兵装で、プラズマ状のビームを形成して対象を消滅する近接戦闘用の新撃武装。左右の腰部装甲内に一基ずつ装備されている。ドーベン・ウルフのものは、格納した状態でビーム砲として使用する事も可能。

### AMX-014 DÖVEN WOLF

AMX-014 ドーベン・ウルフは、ハマーン・カーンに反旗を翻したグレミー・トトが投入した第四世代MSで、MRX-010サイコ・ガンダムMk-IIを参考に開発された機体が原型であるといわれている。専用ビーム・ライフルをはじめ、メガ粒子砲やメガ・ランチャーなど多数の兵装に加え“疑似サイコミュ”を搭載しており、一般のパイロットでもインコムなどを用いたオールレンジ攻撃が可能であった。ラカン・ダカラ率いるスペース・ウルフ隊に配備され、NT(ニュータイプ)能力のレベルによって腕部が無線誘導式のフルスペック機と有線式の一般機に振り分けられていた。この機体は、もともとティターンズ傘下のスタッフによって開発されていたが、グリプス戦役以降の混乱期を経てネオ・ジオンに渡り、さらに、公国系の技術が導入されることで量産化の目処が立ったものであるため、譲渡された経緯や実際の開発者、建造した工廠などの特定が困難で、最終的な生産数も詳細は不明である。

### メガ・ランチャー (ビーム・ライフル)

専用のビーム・ライフルは単独でも標準以上の威力を持つが、本体の胸部メガ粒子砲と接続し砲身を加速器とすることで大出力のメガ・ランチャーとなる。ただし、大量のエネルギーを消費するため最大出力での連射は不可能。

### 胸部メガ粒子砲

ジェネレーター直結型の大出力のビーム砲。拡散ビームと収束ビームの打ち分けが可能であるのみならず、メガ・ランチャー用のメガ粒子加速器の基部としても機能するフレキシブル・ビーム・エミッター仕様となっている。

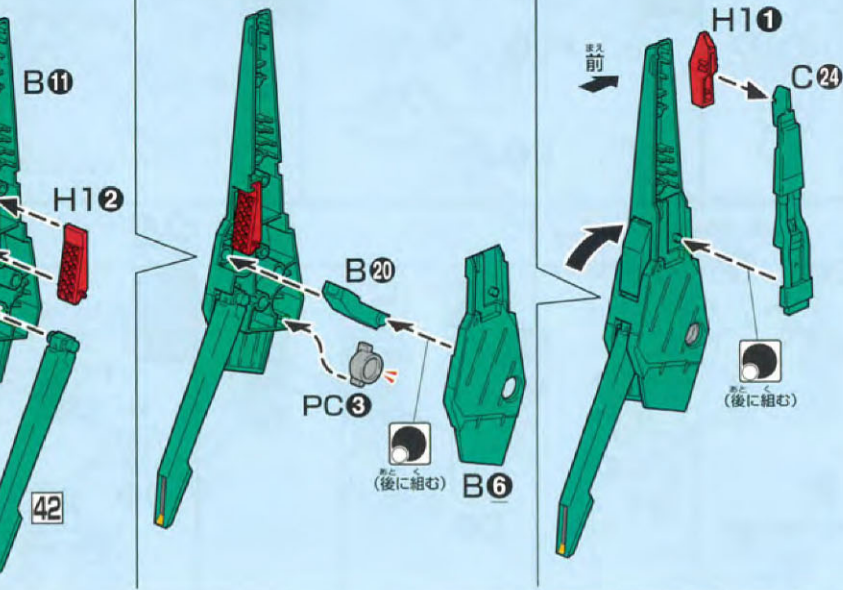
### SPEC

- 型式番号: AMX-014 / 頭頂高: 22.0m
- 本体重量: 36.8t / 全備重量: 74.5t
- ジェネレータ出力: 5,250kw / スラスター総推力: 87,300kg
- 装甲材質: ガンダリウム・コンボジット
- 武装: 30mmバルカン砲 / 肩部ビーム・キャノン / ビーム・サーベル / ミサイル / 胸部メガ粒子砲 / 対艦ミサイル / メガ・ランチャー (ビーム・ライフル) / インコム / ビーム・ハンド / 隠し腕 (指揮官機のみ)

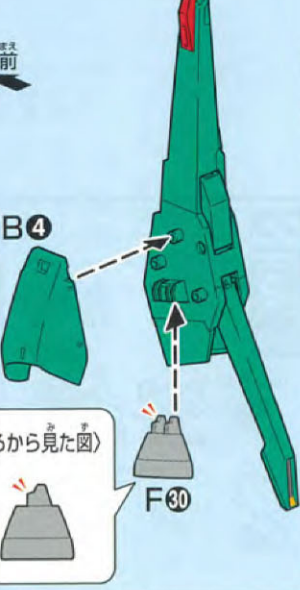
### 個性的なシルエットを持つZZの様々なMS達をHGUCで体感せよ!!



45



46





**47** ※各アンテナが折れないように注意してください。

※(後に組む)

**48**

※(後に組む)

**49** <組み付け位置>

※切り取らないように注意してください。

**50** <横から見た図>

※(両側取り付ける)

※(切り取る)

※(選んで取り付ける)

※(両側取り付ける)

**51** ※手首は外しておきます。

**52** ×2  
2個作る

**55** ※右腕も同様に取り付けます。

※(指揮官機)

※(一般機)

※(選んで取り付ける)

※(両側取り付ける)

**53** ×2  
2個作る

**54** (反対側も同じように動かす)

**56** ×2  
2個作る

※(指揮官機は無線式ハンドになります。)

**55** ※右腕も同様に取り付けます。

※(反対側も同じように動かす)

※(両側取り付ける)

※(切り取る)

※(選んで取り付ける)

※(両側取り付ける)

**57** (反対側も同じように動かす)

**58** <肩部ビーム・キャノンの展開>

※各アンテナが折れないように注意してください。

**59** (反対側も同じように動かす)

<横から見た図>

※可動後に頭部を取り付けます。

※各アンテナが折れないように注意してください。

**60** <メガ・ランチャー発射形態>

**61** (反対側も同じように動かす)

※(指揮官機)

※(一般機)

※(選んで取り付ける)

※(両側取り付ける)

**61** (反対側も同じように動かす)

※説明のため、一部イラストを省略しています。

**62** ×2  
2個作る

※(向きに注意)

**63** ※頭部の各アンテナを避けながら取り付けます。

<組み付け位置>

※説明のため、一部イラストを省略しています。

**64** ×2  
2個作る

※(左手にも持たせられます)

※(指揮官機)

※(一般機)

※(選んで取り付ける)

※(両側取り付ける)

※手首は外しておきます。